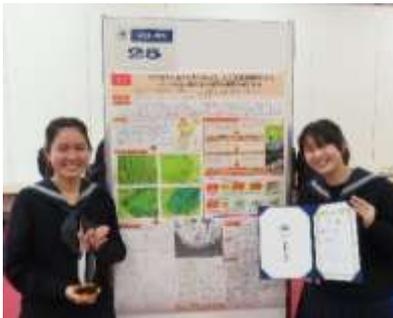


京都大学ポスターセッション2023で最優秀賞を受賞しました！

令和6年3月16日(土)に京都大学が主催する高校生のポスター発表「京都大学ポスターセッション2023」が開催されました。この企画は、発表を通じて高校生が日頃の課題探究活動の成果を披露する場で、各都府県選考を通過した都府県代表校が集まりポスター発表を行います。今年度は、31校が集まり、発表を行いました。

姫路東高校からは、科学部地学系マグマ班の2名が兵庫県代表校選考を通過し、兵庫県代表として「山陽帯花崗岩類の角閃石から発見した波状累帯構造からマグマ分化末期の熱水残液の循環を推定する」というテーマで発表を行いました。当日参加の高校生による投票結果、大学関係者による「発表要旨による事前審査」及び「ポスター発表による当日審査」ともに1位で、その結果、最優秀賞を受賞することができました。



3月に参加した学会等

ポスター賞等、発表は近日行われる予定です。

- (1) 日本金属学会 2024年春期(第174回)講演大会 令和6年3月12日(火) 東京理科大学
事前審査を経て、科学部物理系磁性流体班の2名が参加し、「外部磁力による磁性流体のスパイク形成の条件(その2)」というテーマでポスター発表を行いました。
- (2) 第20回日本物理学会 Jr.セッション(2024) 令和6年3月16日(土) Zoom(オンライン)
事前審査を経て、科学部物理系磁性流体班の5名が「外部磁力による磁性流体のスパイク形成の条件」というテーマで口頭発表を行いました。本校を含めた88校が発表し、フリーディスカッションも行われ、活発な意見交換ができました。
- (3) 第71回日本生態学会大会 令和6年3月17日(日) Zoom(オンライン)
高校生ポスター発表会に科学部生物系ニハイチュウ班の1名が「片利共生する軟体動物の腎囊表面の形状による蠕虫型ニハイチュウの棲み分け」というテーマでポスター発表を行いました。また、発表後は「みんなのジュニア生態学講座—高校生と研究者との交流会」に参加しました。